

県北広域振興局

名称			金額		事業コード			評価結果
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	市町村人口減少対策支援事業	県北広域振興局	322,125	322,125	4 県・上記以外	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	(勉強会開催事業) ① 成果:当初予定していた回数及び内容を開催することができた。 ② 分析:各市町村において、様々なジャンルの政策立案が行われたが、予算化につながらなかった事業等があったことから、令和8年度は事業化への仕組みづくりが必要と感じた。 ③ 今後:令和8年度は、久慈地域及び二戸地域での勉強会を開催し、終了後に立案した政策の発表会を開催し、事業化につなげる。 (住宅対策調査事業) ① 成果:各市町村における住宅、宅地や賃貸住宅の状況確認を行うとともに、住宅関連事業と空き家バンクの活用策の確認などを行った。 ② 分析:各市町村で対応方法等が様々であることから、個別に対応する必要を感じた。 ③ 今後:令和8年度は、地域振興室が所管する過疎地域等政策支援員の派遣などを活用し、市町村の住宅対策を支援していく。
2	カシオペア若者地域定着促進情報発信事業	県北広域振興局	1,980,000	1,980,000	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	ゲスト出演(地域おこし協力隊や移住コーディネーター)による放送内容の充実化を図り、SNS(Xアカウント)やアーカイブ放送を行うことで、情報発信の強化に取り組んだ。リスナーアンケート調査(40名)によると、番組内容については好評であり、二戸市以外の視聴者も獲得できていた。また、出演者を対象としたアンケート(25名回答)によると、有効な情報発信の機会となった旨の回答が7割を超えていたため、一定の成果があったと考えられる。 一方、出演者からは、地域の人とのつながりができていないといった課題等も挙げられ、対面による交流イベント開催を求める意見も多数あったため、通年でのカシオペアFMでの番組放送は令和7年度で終了とし、令和8年度からは、地域のコミュニティ形成に注力した新規事業を実施することとしている。
3	北いわてしごと・暮らし情報発信事業	県北広域振興局	2,001,379	2,001,379	4 県・上記以外	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	○県庁主催の移住フェア等における仕事への個別相談等への対応(一部新規) 管内市町村ブースで「仕事」に関する相談者がいた場合は、本ブースに誘導してもらうなど連携強化を図ったことから、昨年度と比較し大幅に相談者が増加した。また、本ブースに訪問した相談者が移住体験ツアーに参加するなど、県北地域に興味を持ってもらうきっかけにもつながった。移住を検討するにあたって仕事判断材料のひとつになっていることがわかったことから、今後も関係期間と連携し対応していく。 ○移住体験ツアー(広域振興事業)交流イベント開催支援 ツアー参加者と自治体関係者を集めた交流会は、移住を進めるうえで必須な自治体担当者との関係づくりやツアー実施中になかなか質問しきれなかった内容を深掘りの時間に当てられ、参加者・自治体関係者の双方にとって満足度の高い内容であった。来年度もツアーを実施予定であることから、合わせて継続できるよう検討していく。 ○北いわて移住定住ガイドマップ等制作業務(新規) これまで、移住フェア等で県北地域を紹介する際、各市町村ごとのパンフレットはあるものの、日本全体における位置やアクセス、気候や各市町村の特徴を一体的に紹介できるものがなく、県北地域の情報が伝わりづらい状況であった。本ガイドマップにより、県北地域で暮らすことのイメージを持ってもらうことや、管内市町村が移住定住を推進するための共有ツールとしての活用が期待される。なお、完成が年度末となったことから、今後、各種移住フェア等での活用や情報発信に取り組んでいく。 ○北いわて企業ガイドブック作成業務 これまで、首都圏での移住フェアや管内市町村の二十歳の集いでの配布のほか、移住体験ツアー参加者への配布を行った。移住体験ツアー参加者の中からは、本ガイドブックで紹介した企業を見学のために再訪するなど、U・Iターン就職を検討する方へのPRツールとして効果が見られた。今後は、データ版の活用を中心に取り組んでいく。 ○イベントPR資材の作成(新規) 県・市町村それぞれで様々な関連パンフレット等を作成しており、今年度作成したビニールバックはそれらをまとめて参加者に配ることに貢献した。 なお、まだ残部があることから、来年度以降も移住関連イベント等での配架を継続する。 ○協力隊フォローアップ担当職員研修の開催支援(新規) 本地経費で実施した研修会・意見交換会は、参加者の満足度も高く、効果的な内容であったことから、来年度も継続して開催する。来年度以降については、地域内で持続可能な研修としていくためにも、地元中間支援組織に委託して実施することとしていく。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

	名称		金額		事業コード			評価結果
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
4	北いわて・子ども文化芸能体験ひろば	県北広域振興局	1,068,575	1,068,575	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	児童等が文化芸術や民俗芸能を体験するイベントについては、予定人数を上回る児童が参加し、体験を通じた交流を図れた。民俗芸能団体の派遣については、放課後子ども教室を中心に実施し、子ども達の民族芸能に触れあい、親しみをもつ機会とすることができた。
5	八戸圏域とのスポーツ交流・連携推進事業	県北広域振興局	152,100	152,100	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	岩手ビッグブルズと青森ワッツの選手等を招聘し、スポーツ体験や選手及び他圏域の児童と交流する体験教室に62名参加した。参加児童のバスケットボールの経験の違いもあり、体験がうまくできなかったとの意見もあったことから、来年度は習熟度や経験の有無などを考慮して実施する。
6	就労継続支援事業所の経営支援事業	県北広域振興局 久慈地域障害者自立支援協議会	584,996	584,996	1 県・委託	8 子育て・福祉	1 ソフト	えーびーマーケットは令和5年度から開始し、今年度で計6回の開催となったが、開催する度に来場者数や売上額が上昇している。地域住民に根ざしたイベントになってきており、事業所の知名度の上昇にもつながっている。 モデル事業については、個別研修の申込が無く、事業所への周知不足の他、研修の内容について検討する必要があったと思われる。 全体研修については参加事業所から概ね好評な意見が上がったほか、個別相談を3年間継続して受けた事業所からは、この個別相談で学んだことが事業継続に繋がったとの声が挙がっており、一定の成果はあったと考える。
7	アイばあちゃんのキャラバン隊～こころとからだの健康づくり～	県北広域振興局	216,344	216,344	4 県・上記以外	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	九戸村及び軽米町と早期に課題の共有を行い、対象者や内容を検討、ハイスクへの啓発を行うことができた。それぞれ1回の開催であったが、自殺予防だけでなく、健康課題を総合的に普及啓発することで、参加者が自分のこととして捉えることができたものと考える。 自殺死亡率及び脳卒中等生活習慣病の死亡率の減少は、1回の出前講座で改善は難しいが、ハイスクへのアプローチも考えてより住民への普及啓発を行っていく必要がある。
8	久慈地域公共交通利用促進事業	県北広域振興局 岩手県北自動車株式会社	194,520	136,000	2 県・補助	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	今年度の事業実施に当たっては、令和6年度までの実施状況を踏まえ、年度の前半と後半で、企画切符の販売枚数に上限を設ける等の工夫をし、年度後半にも切符を活用できるよう見直しを行ったほか、イベント参加に係る費用(食事代等)への充当も引き続き可能としたところだが、結果的に販売枚数は目標を下回る結果となった。 一方で、令和7バス事業年度(R6.10～R7.9)の路線の利用者数は前年を上回ったことから、引き続きバス事業者や沿線市町と連携し、路線維持のため利用促進に取り組んでいく必要がある。
9	久慈・二戸地域「ふれあいウォーキング」事業	県北広域振興局	334,350	334,350	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	イベント後に実施したアンケート結果によると、参加者はインフラ施設の役割や整備・維持管理の重要性を理解したと回答しており、事業の目的は概ね達成できた。一方で、参加者の年齢層が高い傾向にあり、地域の建設業における担い手確保という観点からは、十分な成果が得られていない状況である。 次年度は、ターゲットを絞り込み、若年層の関心を惹きつけるイベント内容や実施方法を検討・実施することにより、地域の建設業の担い手確保への一層の寄与を図る。また、事業を継続することにより、インフラ施設の整備・維持管理の重要性について、参加者の理解促進を図る。
10	県北にのへ環境を守り育てる人材育成事業	県北広域振興局	645,600	645,600	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	県境産廃不法投棄事案の出前授業については、参加者から内容に対し良い評価を得られた一方、まだまだ当該事案を知らないとの回答が多いことから、事案伝承のため今後も継続して開催する。 二戸地域環境塾については、参加者から内容に対し良い評価を得られているものの、高校2校からの参加に留まったため、地域内の全ての高校に周知し、地域全域からの参加と参加者数の増加を目指す。 にのへエコフェスタ(カシオペア環境フェスティバル)については、令和5年度以降は来場者数やエコキャラコンテスト応募作品数が低調のため、開催時期や周知方法等の改善、新規参加の企業・団体等の開拓を図る。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

	名称		金額		事業コード			評価結果
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
11	北いわて再生可能エネルギー推進事業	県北広域振興局	190,780	190,780	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	(1) 一般(親子)向け普及啓発セミナー ・これまでのアンケート結果から、県北地域の再エネのポテンシャルが高いことは一般的に知られているが、そのポテンシャルの高さ(=誇れる地域であること)が住民に浸透していないことが分かっている。 ・再エネ導入により外貨の獲得や雇用の創出など、地域力の向上につながっているというメリットを発信することで、県北地域が、再エネ分野の普及により「首都圏に負けない魅力的な産業が育ち、若者に選ばれる地域になる」ことを示す必要がある。 ・このように、引き続き普及啓発を図る必要があるものの、各市町村でセミナー形式による普及啓発イベントが実施され始めており、取組が重複することから、同じ形式での開催は難しい。 ・他団体との住み分けをしつつ、効果的な普及啓発を進めるため、手法・手段の変更を行う必要がある。 (2) 洋上風力発電等の地元企業向けセミナーの開催(継続) ・洋上風力発電は地域産業の多角化など、地域経済へのメリットが多岐にわたることから、引き続き商工会議所と連携することとする。
12	「白銀のひかり」ブランド化推進事業	県北広域振興局 久慈地方農業農村活性化推進協議会	1,172,257	700,895	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	生産振興及び認知度向上の両面の取組により、管内生産者の「白銀のひかり」に対する理解醸成を図ることができた。 一方で消費者への認知度は未だ低いため、次年度施策で重点的に取り組む。
13	二戸地方農業DX導入推進事業	県北広域振興局	291,742	291,742	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	農業DXやスマート農業技術の必要性を啓発する研修会の継続と併せて、現地での検討会やデモ実演を通じて、スマート農業技術を直接実感できる機会を作るとともに、スマート農業技術を活用した経営改善実証を行うことによって、広く地域への導入を促進する。
14	ブランド果物育成支援事業	県北広域振興局 二戸地方りんご生産部会若者会	253,903	199,617	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	・二戸地域オリジナルブランドの育成に向け、産地主導の品種開発により生産者の意欲が向上し、品種登録に向けた一環として有望系統の試食会の開催などの活動に繋がっている。 ・地域オリジナルブランドの育成に向けて、各関係機関と協力し、養成ほ場や樹体管理、生育調査等を進めるとともに、「特徴のある産地づくり」に向けて協議するほか、情報共有を図りながら事業を行っていく。
15	二戸地方魅力ある農村地域活動促進事業	県北広域振興局	522,787	522,787	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	今年度の事業実施状況や各市町村へのヒアリングから、二戸地域では農村RMOへの理解が不足していること、若手の地域の中心人物(地域コーディネーター)候補者が少ないことが課題として挙げられた。 地域をまとめるスキル向上のため、令和8年度は支援回数を増やし(3回→6回)人材育成とRMO形成に向けた地域の体制整備等支援を実施することで、管内への理解促進と機運醸成を図る。
16	久慈地方野菜産地拡大加速化事業	県北広域振興局 久慈地方農業農村活性化推進協議会	555,753	419,258	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	県内有数のほうれんそうの産地を維持しつつ、新規野菜品目を地元に着させ、生産・販路拡大を進めることができた。
17	北いわて農業農村魅力発見・発信事業	県北広域振興局	478,460	478,460	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	① 成果 研修会を通じ、グリーン・ツーリズム実践者や関係団体(地元NPO法人、グリーン・ツーリズム協議会、観光協会等)が一体となって周遊ルートの検討を行い、案の作成まで進んでいる。 ② 分析 実証調査のアンケートでは、概ね好評であったが、全体的にイベントを詰め込みすぎて時間的余裕がない、という意見も多く、周遊ルートのブラッシュアップが必要と考えられる。 ③ 今後 県北圏域での広域の周遊ルートの造成に向け、旅行代理店等への研修会等の委託により、観光客がきて満足してもらえるような周遊ルートのブラッシュアップを図る。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

	名称		金額		事業コード			評価結果
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
18	新規就「業」者確保定着推進事業	県北広域振興局 久慈地方農業農村 活性化推進協議会	763,973	667,026	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	①成果 目標である40人を上回る新規就農者を確保しており、当事業の成果が着実に表れていると考えられる。 ②分析 現状の新規就農者は、他地域で就職後にUターンした方が多く、地域に所縁のない方の就農や高卒、大卒で就農する事例がない。 ③今後 今回作成した雇用就農パンフレットやガイドブックを活用して、県外の就農イベントで、より当地域での就農をPRするとともに、地域の中高生に向け、職業としての農業をPRする必要がある。
19	林業・木材産業新規就業サポート事業	久慈地方「木の仕事」協議会	540,130	359,780	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	久慈翔北高校での出前授業・林業機械操作体験を通じ、地域の林業・木材産業への理解醸成は深まったと考えられ、継続した取組みにより、地元企業への新規就業者（協議会内新規採用者R7：8名）やいわて林業アカデミー入校生は途切れることなく確保されている。 今後も継続した就業支援を行う必要があり、久慈翔北高校での体験型林業・木材講座に加え、管内の他の高校での出前授業等を行い、理解度向上に努め、新規採用者確保を図りたい。
20	特用林産物振興推進事業	県北広域振興局	66,520	66,520	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	首都圏イベントでのしいたけ販売数は目標を達成しているが、認知度（特に木炭）はまだまだ低いと感じられるため今後も継続して取組みを実施する。 販路の拡大（銀河プラザでの常時販売やECサイト開設）と併せて、地元でのイベント開催により、生産者の所得向上・経営安定化を図ることとしたい。
21	浄法寺漆資源確保支援事業	県北広域振興局	1,623,318	1,623,318	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	漆資源量調査を実施したほか、ウルシ林の保育管理技術及び獣害対策に係る研修会の開催、生漆採取後のウルシ原木の有効活用方法について検討を行った。今後も、市町村・関係機関と連携しながら、持続的な漆資源の確保、生漆の生産基盤の安定化に取り組んでいく。
22	浜の担い手確保育成事業	県北広域振興局	152,134	152,134	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	高校生を対象とした水産業の座学、体験学習を通じ、水産業の現場への理解・興味を深める場の提供ができた。しかし、高校卒業後すぐに漁師になるケースが少ないことから、今後は、Uターンでの漁業就業のきっかけ作りにも取り組む考え。 安全講習会により、漁業者に対する安全意識の啓発を行うことができ、今年度もアワビ期間中の事故等は発生しなかった。今後も潜水漁業者への安全講習を継続するとともに、漁船漁業・定置網漁業に対する講習会を企画・開催することにより、管内の安全操業を維持したい考え。
23	うに・あわび餌料海藻生産活性化事業	県北広域振興局	312,748	312,748	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	管内の漁業生産量を向上させるために必要な試験実施及びデータ収集に繋がれたもの。
24	県北地域における「海業」推進対策事業	県北広域振興局 久慈地域「海の幸」PR協議会	1,570,799	1,070,800	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	本事業の実施により、漁業者をはじめとした関係者の「海業」に対する理解が進み、ワークショップによる「海業」コンテンツ案の作成を通じて、実施に向けた具体的な手順についても共有できた。 来年度以降も管内の「海業」の取組を推進し、管内漁業者の所得向上および関係人口、交流人口の拡大を図り、地域の活性化に繋げていきたい。
25	北いわて食の魅力発信事業	県北広域振興局	2,092,015	2,092,015	1 県・委託	2 食産業	1 ソフト	八戸からの鉄道ツアーと連動したなにゃーとでのイベントの開催及び八戸ラピアでのイベントにより、北いわての食の魅力発信及び販路拡大が図られた。一方、八戸圏域在住者に対する県北エリアへの周遊性が課題として挙げられることから、次年度はラピア販売会において、観光コーナーを充実した内容に改善し、出店者の商品に関するSNS情報発信等を販売会と連動して取り組むことにより周遊性を高め、更なる三八地域への販路拡大・認知度向上を図っていく。 R5・6年度に実施した「食産業関係者招聘ツアー」の事例発表及び招聘ツアーで課題となった情報発信力強化のためのセミナーを開催し、招聘ツアーの成果及び課題を県北地域の食産業事業者へ横展開することができた。また、セミナーへの参加の他、個別の企業訪問により事業者の経営課題及び支援ニーズを把握し、意欲ある事業者の掘り起こしができた。次年度は、それらの事業者の販路拡大を支援するため、首都圏飲食店のシェフ等を対象にした産地見学会を実施する。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

	名称		金額		事業コード			評価結果
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
26	北いわて栗の魅力発見事業	県北広域振興局	139,971	139,971	4 県・上記以外	2 食産業	1 ソフト	令和7年度の取組を通じ、二戸の栗の実態(甘さが劣り、安価。各々のタイミングで採取し販売)が把握できた。また、温暖化対策として、他市町村の果樹生産者はももではなく、栗を選択していることを学ぶことができたことで、以下の課題が明確となった。 ①栗の商品価値向上のため、栽培管理技術の向上と品質管理技術(冷蔵貯蔵・熟成)の導入が必要 ②栗の需要拡大のため、適正な品質管理を行った栗の加工実証が必要 ③温暖化対策として、りんごの早生品種代替の可能性検討が必要 令和8年度は、これらの課題に対応した取組を進める。
27	北いわてアパレル産業認知度向上事業	県北広域振興局	309,574	309,574	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	インターンシップの参加者数は目標値に達しなかったが、これまで受け入れ実績の無い専門学校からも参加があった。 来年度は制作した動画や過去に制作したパンフレット等の成果物を活用して、引き続き情報発信を行い、採用に結び付けていきたい。
28	北いわてものづくり産業人材育成事業	県北広域振興局	882,576	882,576	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	県北ものづくり改善塾については、自社の課題を持参する方式で実施し、計7回10社13名参加した。修了生からは今後自社で改善の取組を続けていきたい等前向きな意見をいただいたほか、派遣元企業からも改善塾に参加させた効果について評価をいただいております。県北地域の製造業の業務効率改善に繋がる取組となった。一方、近年参加企業が固定化しているため、周知の機会を新たに設ける等、参加企業開拓、参加者数増加を図りたい。 引き続き、県北地域ものづくり産業ネットワークと連携し、県北ものづくり改善塾やフォローアップ研修を通じて、企業の生産性向上及び従業員の技術力向上に向けた人材育成に取り組む。
29	北いわて観光情報発信力強化事業	県北広域振興局	1,396,000	1,396,000	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	観光客誘客のためには最新かつ最速の観光情報発信が必須であることから、今後も同ガイドブックを活用した観光情報発信や、市町村等SNS連携を継続する。
30	カシオペア地域商工観光連携推進事業	二戸地区広域商工観光推進協議会	2,279,500	1,139,000	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	①補助事業により、地場産業の意欲ある取組を支援することができた。R8年度も引き続き地場産業の振興や交流人口拡大に向けた新たな取組を支援する。 ②雑誌掲載により二戸地域の温泉施設や飲食店等の魅力を発信し、取り上げた施設の誘客につなげることができた。 ③マンガ九戸政実物語(日本語版)を増刷し、県外のイベントや管内施設等で配布することで、県内外からの誘客促進を図ることができた。
31	北いわて若者交流促進事業	県北広域振興局	198,521	198,521	1 県・委託	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	・若者の交流促進・ネットワークづくりについては、参加目標数を達成し、参加者からも概ね好評であったことから、次年度も継続実施したい。なお、結婚支援については、人口減少対策として喫緊の課題であり、引き続き、新たな取組等についても検討していく。 【参加者アンケート】 健康への意識変化はありましたか:とても変化した14、変化した32、どちらともいえない7、あまりなかった2、なかった1 自由記載:「同じグループの人たちと一緒に弁当を食べたり動いたりしグループにうちとける良い内容だった」等 ・市町村等と連携した結婚支援については、県北地域結婚支援関係団体等連絡会議等を活用し県事業の積極的な活用を促進するなど、一層の連携強化に努めていく。
合 計			23,293,450	20,654,991				